

人権問題講演会

三つの人生を生きたくましく生きた女性

会津藩で戦い・クリスチャンの洗礼・社会福祉活動

NHK 大河ドラマ「八重の桜」の主人公でもある新島八重は、主従関係に厳しい縦社会を重んじる会津に育ち、その後新島襄との結婚によって平等の精神を学び、夫亡き後は社会福祉活動に身を投じました。

3つの人生を存分に生きた八重さんの人生から、男女が共に支え合うこと「男女共同参画社会」「人権」について性別、年代を超えて共通の課題として考えてみましょう。



☆講師☆



北九州森鷗外記念会

顧問

品川洋子さん

とき

12/13

川柳表彰式：午後 6 時～ (金)

講演：午後 6 時 30 分～8 時

ところ

プロフィール

1931年東京生。1944年戦時疎開で福岡県へ移住。1953年福岡学院(現教育)大学中学校教育課程社会科卒業。2001年九州産業大学大学院国際文化研究科修士取得。1953年北九州市立中学校教諭、1992年北九州公立中学校校長定年退職(教職計39年)。1992年福岡教育大学教育学部講師(16年継続)。2002年九州女子大学文学部教授。西南女学院大学非常勤講師。2007年北九州森鷗外記念会会長、顧問。

著書 『銀のペン皿』

『学习センターとしての学校図書館』

『戦中戦後少女の日記』

『紫匂いし・戦時下の少女が綴る』

* 参加無料

* 託児あり

(要事前申込)

12月10日まで

中央公民館講堂

☆申込・問合せは・・・中間市人権センター

〒809-0011 中間市岩瀬1-17-1 TEL245-3511 FAX245-3517

Email : jinkendanjyo@city.nakama.fukuoka.jp

主 催 : 中 間 市 • 中 間 市 教 育 委 員 会